

令和2年度 第1回米子市図書館協議会・会議録（概要）

- 日時 令和2年6月30日（火） 午後2時から午後4時まで
- 場所 米子市立図書館 多目的研修室1・2（2階）
- 出席者 委員
渡邊 眞子、辻田 賢次、井口恵美子、小谷 齊、卜蔵 久子、坂口 浩子
野上 亜紀、宇田川恵理、中井 康恵、原 篤成
- 事務局
（米子市立図書館）菅原館長、（一財）米子市文化財団 佐藤図書課長
（米子市教育委員会）木下生涯学習課長、安田課長補佐、若林主幹
- 欠席者 なし
- 傍聴者 なし
- 報道関係 1社（中海テレビ）

【協議会の概要】

開 会

- 事務局より開会

会長挨拶

- 渡邊会長からあいさつ

事務局

- 新規委員紹介・事務局及び図書館紹介

菅原館長

- 子供の読書活動優秀実践図書館の文部科学大臣表彰の受賞報告

渡邊会長

では、1番目の「新型コロナウイルス感染拡大防止対策について」の説明をお願いします。

菅原館長

2月ごろから、消毒液の設置や定期的な換気、マスクの励行などの新型コロナ対策を講じてきました。

その後、3月から5月にかけて、例会やおはなし会を中止し、4月に県内での感染者が発生したことにより、4月14日から5月6日までの3週間にわたり、臨時休館し、主に4月12日以前に予約を受けた本の受け渡しのみ行いました。

緊急事態宣言が解除された5月7日から18日まで、利用制限をかけながら開館しましたが、開館時間を一律に9:00~17:00に短縮し、図書の貸出を中心にし、閲覧席の全席撤去、新聞雑誌の閲覧コーナーの閉鎖、研修室やおはなしの部屋を閉鎖し、三密対策を行ってきました。

その後、5月19日から6月1日までは、閲覧席を一部設置、新聞閲覧コーナーやIT端末の利用を一部可能にするなど、利用制限を一部緩和し開館しております。

また、6月2日からは開館時間を通常時間に戻し、座席数を減少させたうえで多目的研修室を開放するとともに、例会やおはなし会を三密を回避しながら再開しています。

渡邊会長

図書館としてできる限りの対策を、職員が一丸となって対応されていると感じました。

みなさん質問がありましたらよろしくをお願いします。

ト藏委員

私が臨時休館中に訪れたところ、司書さんたちの対応が、とても丁寧な対応をしておられたのは、大変すばらしいと思いました。

中井委員

どのような三密対策を行ってきましたか。

菅原館長

具体的な三密対策ですが、ソーシャルディスタンスを確保するため、閲覧席の数を減らし、長時間の滞在をご遠慮いただくように広報してきました。

中井委員

図書館流通センターが斡旋していた本の消毒器を導入する考えはありませんか。

菅原館長

当館では返却された図書を、司書が一冊ずつ手作業で消毒していることから、図書の消毒器を導入する考えはありません。

渡邊会長

次に「令和元年度事業報告及び決算について」の説明をお願いします。

菅原館長

資料2のとおり、令和元年度に実施した事業の合計は、前年度と比べ、実施回数が21回、参加者は600人、それぞれ減少しています。

これは、主に新型コロナの関係で、3月の例会やおはなし会を軒並み中止としたことによるもので、おはなし会の参加者が360人も減少しています。

次に、5ページの視察・見学の受け入れについては、逆に参加者が増えており、特に、小学校2年生の館内見学参加者が、245人増加しています。

6ページには、市民ギャラリー・展示ギャラリーを利用した展示の一覧を、また職員研修の実績は全体で研修会数は28回、延べ104人が研修に参加しています。

そして、研修の内容については、直接業務に関連したものや、職員の資質向上につながるものを受講しています。

次に、資料3「令和元年度図書館費決算明細書」ですが、合計134,680千円の予算に対して130,643千円の決算額となっており、4,038千円の不用額となっています。

これは、図書館システム賃借料の内、館内のサーバから民間のデータセンターのサーバを利用するホスティングサービスに移行したことにより、図書館システム賃借料が1,887千円の減額となったこと、また、地元書店からの図書購入を増やしたことにより、図書館流通センターに対する図書情報入力委託料が152千円の減少したこと、また、清掃委託料の入札実績による減少があるほか、文化財団の職員の内、2名の市職員が中途退職したこと、また、育児休業からの復帰予定者が育児休業を延長したことにより、文化財団委託料が1,645千円減額したことなどによるものです。

渡邊会長

地元の書店からの購入を増やしているとのことですが、地元へ資金を落としていくということは、とても良いことと思います。

それでは、質問がありましたらよろしくをお願いします。

中井委員

図書館の実施事業を見てみるに、若者を対象としたイベントが少ないように感じます。ヤングアダルト向けのイベントの充実を要望したい。

また、米子市文化財団に業務を委託する経緯はどうなっていますか。また、文化財団がどのような団体なのか、財源はどうなっているのでしょうか。

菅原館長

米子市文化財団に委託した経緯ですが、当館は、平成2年に鳥取県から米子市に移管され、当時、運営体制は直営・委託を含めて議論されたと伺っていますが、その当時、児童文化センターの運営を外郭団体であった米子市文化事業団が受託していた実績から、図書館についても委託してはどうかとの結論に至ったものと考えております。

中井委員

施設維持等の箱ものについては、市が直接経費で予算組みをしていますが、事業に係る予算については、文化財団への委託料で措置しているのですか。

菅原館長

図書館費は、事務員の人件費をはじめとした事務経費、施設の清掃委託などの施設維持費、図書館運営に必要な文化財団委託料をはじめとする図書館運営経費と図書購入に係る図書資料費で構成しています。

その中で文化財団へ委託料として支払うことにより、文化財団の財源となり、人件費をはじめ一部の事業費を措置しています。

中井委員

文化財団側の予算の中の事務局経費は何ですか。

菅原館長

文化財団の事務局職員の人件費や事務費について、図書館や文化ホール、美術館などの各施設が負担するというので、各施設に係る事業費の5%を事務局費として計上しています。

ト藏委員

文化財団の事務局経費ですが、各施設で負担していることですか。

菅原館長

各施設に振り分けられるものです。

ト藏委員

事務局経費の内容が分かりにくいので、できれば決算明細書の欄外に事務局経費の内容を載せてほしい。

菅原館長

文化財団の常務と相談したい。

渡邊会長

清掃委託について、請負業者の選定は。

菅原館長

清掃委託業者はワイビーエムという会社で、1年契約となっており、毎年入札を行い、4~5社が入札参加しています。

業者は、開館時間に合わせて、常時2~3人が常駐し、業務にあたっており、この度の新型コロナ対策では、机やドアノブ等のふき掃除も徹底して行っています。

渡邊会長

それでは、次に「令和2年度事業計画及び予算について」の説明をお願いします。

佐藤図書課長

令和2年度の図書館事業計画については、誰もが利用しやすい「使える図書館づくり」として、ハートフルコーナーの充実、視覚障がい者支援関係機関のチラシやパンフレットの収集、「サピエ図書館」の活用、デジタイズ録音図書の利用促進を図るとともに、外国人に対する多言語資料を充実を図ります。

また、今年度は市立図書館開館30周年にあたるため、記念誌の発行と記念講演を予定しており、講演会は、一般の部と子どもの部の2本建てで考えています。

育む図書館づくりとしては、学校図書館支援のため、テーマリクエスト資料の複本を充実させることを考えています。

13ページからは主要事業の内容を掲載しているが、主なものとしては、図書館まつりについては、昨今の新型コロナの感染予防の観点から、実施の可否を含めて、状況を十分に把握したうえで、検討していきます。

いきいき音楽教室については、ここ数年希望者が多いため、今年度からクラスを1つ増やし2クラス制にして実施しています。

また、今年も引き続き、大人のための100選講演会を開催し、ジュニア司書養成講座については、三密対策のため、募集人員を半分に開催します。

中井委員

これだけの事業を実施するのに、何人で行っているのですか。

佐藤図書課長

図書館に勤務する者、20人です。

中井委員

ブックスタート事業には、どのように関わっていますか。

佐藤図書課長

6カ月検診時に図書館の司書が読み聞かせを行っています。

中井委員

そもそも、ブックスタート事業の主管課はどこですか。

佐藤図書課長

健康対策課です。

中井委員

ブックスタート事業は、子どもの読書活動を考えるうえで、学校での読書習慣につながる重要なものなので、図書館が中心にやってもらいたいのが希望です。

佐藤図書課長

あくまでもブックスタート事業は健康対策課が主幹で行っていますが、子どもの読書活動推進の観点からも支援していきます。

中井委員

— 公共図書館と学校図書館とのネットワークにより、連携の必要性を例示を使って発言

ト藏委員

市内の子育て支援センターでの子育てサークルが読書活動を行っていますが、子育て支援の観点からもお薦めの図書の貸出をお願いしたい。

井口委員

小学校においても、市立図書館には、学校図書館からのリクエストに素早く応じてもらい、感謝しています。

小谷委員

中学校でも、学校司書と司書教諭の協力により、学校図書館での授業を実施していますが、その際、必要な図書を市立図書館からも貸し出してもらい、充実した授業が行われている。

菅原館長

資料5の「令和2年度図書館費予算明細書」ですが、令和2年度の図書費予算額は136,661千円で、昨年度と比べ1,981千円の増となりました。

これは、職員の育児休業から復帰や職員の定期昇給、消費税の平準化により文化財団委託料が2,957千円増加した一方で、器具借料として図書館システムが、ポスティングサービスへの移行に伴い2,316千円減額したことによるものです。

資料6には、図書資料費の推移を掲載していますが、平成25年度のリニューアル時の図書購入費が30,000千円であるのをピークに、その後は24,500千円で推移してきました。最近では少しずつ増額をし、今年度は25,700千円に至っています。

渡邊会長

質問がありましたらよろしくをお願いします。

辻田委員

一致するべき19ページの前年度予算額の内訳と9ページの当初予算額の内訳が異なっています。

菅原館長

9ページの当初予算の内訳が間違っており、19ページの前年度予算額の内訳が正しいので、修正をお願いします。

宇田川委員

図書館のイベント事業の予算については、具体的にどこについていますか、また、ホスティングサービスでのサーバがどこにあって、どのように運用されているのですか。

菅原館長

イベント等の開催経費については、文化財団の委託料の中で措置しています。

ホスティングサービスでのサーバについては、民間会社のデータセンターのサーバを利用しており、自前でサーバを維持管理するより、民間のデータセンターで管理することで経費削減になっています。

宇田川委員

事業に係る予算要求については、どのようにしているのですか。

菅原館長

事業に要する経費については、文化財団側から出されたものを精査したうえで、予算要求しています。

渡邊会長

図書館協議会で出た各方面からの意見が、予算に反映できれば良いと思っています。

卜藏委員

図書館まつりの中の「ものづくり」のコーナーが、とても混雑しています。職員も大変忙しいので、市民の手を借りて開催すればと思います。

辻田委員

「ものづくり教室」を開催していますが、多くの人に参加してもらい、ありがたいと思っています。これからも市民の協力を得ながら、実施したいと思います。

渡邊会長

次に「米子市立図書館の現状について」の説明をお願いします。

菅原館長

米子市立図書館の現状ですが、資料7に掲げます蔵書冊数が、ここ数年対前年度比3%台で推移しており、令和元年度末では331,6569冊となっています。

また、児童図書の蔵書数も順調に伸びており、令和元年度末で82,501冊となっており、全蔵書数の1/4を占めています。

次に、貸出冊数についてですが、3年連続で2%台の伸びとなっており、令和元年度末で684,331冊となっています。

その貸出冊数を分野別で見ると、児童が30.2%、文学が25.6%、工学が9.1%の順となっており、これら3分野で64.9%を占めています。

月別の貸出冊数は、毎月5万冊を超えていますが、多い順に3月、8月、7月となっており、特に3月は新型コロナの影響で小中学校が臨時休業したにも拘らず、一番多い貸出月となりました。

来館者数については、322,750人で前年度を7,650人増加しています。これは、8月に美術館で行われた大規模イベントとの相乗効果があったものと考えています。

資料9の他市との比較については、当館の人口1人当たり蔵書数は2.2冊で、他都市と比べると平均を下回っています。

他都市のほとんどが合併をへて、本館・分館を持っていることから蔵書数に差があるとも考えられ、そのため、中心館との比較も検討する必要があるかと考えます。

貸出冊数は4.5冊でほぼ平均並みとなっていますが、所有する図書が何回貸出されたのかを見ると、当館は2.1回で、県内平均1.4回、山陰12市平均1.2回、中国地方平均1.6回を大きく上回っています。

また、登録率では51.6%で他都市と比べて高い登録率となっています。

渡邊会長

質問がありましたらよろしくお願いします。

中井委員

他市との比較がしてあるが、どういう基準で選ばれているのですか。

菅原館長

中国地方の都市で、産業構造や財政規模が違うものの、人口10万人から20万人の都市を選んでいきます。

中井委員

もっと先進的な図書館を見据えていただきたい。

また、米子市立図書館は何を目指して行っているのですか。

菅原館長

当館が何を目標としているかは、図書館運営方針の中で目標として7つの柱を設定し、米子市立図書館が進むべき方向性を示しています。

中井委員

その中でも、一番重要なものは何ですか。

菅原館長

公共図書館である以上、何かの分野に特化することはできませんが、図書館の役割を表すものとして、一つには貸出冊数に注目することも重要と思っておりますが、それだけではなく、幅広い年齢層の方々が利用しやすい図書館を目指すことが重要と考えます。

宇田川委員

予約件数の内、インターネットによる予約の状況はどうか、また、資料相談について、図書館は貸出だけではなく、レファレンスの機能も重要と考えるが、如何ですか。

また、レファレンスのデータベースをどのように充実させていますか。

佐藤図書課長

昨年度図書館システムの更新により、WEB予約がしやすくなったため、予約件数が伸びていると考えます。

また、当館のレファレンスについては、市報をはじめ、図書館だより等で広報しています。

レファレンスの際のデータベースについては、国会図書館の協同データベースを活用するなど幅広く収集しています。

宇田川委員

小中学生だけで調べられるマニュアル、リストのようなものがあればよい。

佐藤図書課長

全てには対応できませんが、テーマごとに調べることができるリストを作成しており、ホームページにアップしています。

中井委員

前回の会議の議事録が送ってきていないが。

菅原館長

本会議の議事録は正式なものではなく、概要的な会議結果として作成しており、委員さん方には送っていません。本市のホームページに会議の結果を掲載しているので、ご覧いただきたい。

中井委員

図書館協議会の開催日時ですが、図書館の様子なども見たいので、平日開催にしてもらえないでしょうか。

菅原館長

協議会の開催を月末休館日に行っているのは、平日開催すると利用者の研修室の利用に支障が生じると思うからです。図書館内の様子を見ていただくのであれば、平日開館しているところを見ていただきたい。

ト藏委員

図書館の情報提供の場所は、入口を入れて左側にありますが、子育て支援の情報は児童図書コーナーの奥にあります。できればまとめていただければよい。

渡邊会長

図書館協議会は図書館長の諮問を受けて意見を言う場です。図書館に対して、これからも市民の意見が届く協議会としていただきたい。

それでは、時間となりましたので、本日はこれで終わりますが、皆さんご協力をどうもありがとうございました。

以上